

回 覧

しばたまち交流ひろば

ゆる. ぷら倶楽部



2013.12.1 ニュースレター第 41 号

春の体験会を 開いてみませんか？

緊急募集!

何かを始めたくなる春を前に、一足早く体験会を開いて、一緒に活動する新しい仲間を増やしてみませんか？

※多目的スペースのご利用は無料です。
※材料代を受講者に実費負担していただくこともできます。

詳しくは
ゆる.ぷらまで!

●実施日：**平成26年2月～3月**の期間

※募集期間：平成25年12月25日（水）まで

体験会レポート

『アロマ体験会』11月2日(土)実施



一緒にせっけんこねこね♪



立体的で可愛い!



トリートメントも気持ち良さそう!

講師：根元晴美さんより・・・

毎年東京などで行っている“アロマの日”イベントを地方でもということで、簡単に作れるアロマブレやアロマこねこねせっけん、アロマトリートメントの3つを体験していただきました。

特にアロマこねこねせっけんではお子さん連れが目立ち、お母さんと一緒にこねている姿が可愛かったですね。

楽しかったのでまた行ってほしいという声をいただいたので、次回またやってみたいです。

11月のギャラリー展示の様子

◎【庄子博絵画展】(10月29日～11月10日)



白いフレームに柔らかくて優しい雰囲気が特徴的です。

庄子博さんより・・・

作品発表の場として年1回秋の絵画展が出来ればと考えています。

重層的な色彩で構築した画面ときりつめたフォルムで、どこまで空間を表現できるか追及してきました。

◎【柴田町シャドーボックス愛好会展覧会】(11月12日～11月24日)



同じ絵柄の紙を部分的に切り重ね立体的に見えます。

小さな絵柄も丁寧に作られていて素晴らしいの一言です。

平井ひで子さんより・・・

シャドーボックス愛好会としてはゆる. ぷらで初めての展示となりました。月1回の愛好会の中でコツコツと時間をかけて作ってきた作品です。まだまだ認知度の低いこのクラフトを多くの方に見ていただけたと思います。機会があればまた展示したいとおもいます。

まちづくり推進センター情報

【まちづくり提案審査会が開催されました】

まちづくりに住民の皆さんのアイデアや行動を活かしていく「まちづくり提案制度」の、平成25年度第2回審査会が10月31日に開催されました。今回は、意見提案1件、スタートアップ提案1件の審査となり、提案者からのプレゼンテーションを基に審査を行い、提案は2件とも採択となりました。採択された意見提案は、提案者と相談しながら町が実現へ向けて検討していき、スタートアップ提案は事業への支援（補助金・上限3万円）を町から受け、実践活動を進めていきます。

＜採択された提案＞

※敬称略

意見提案 (アイデアの提案)	名称	しばた100選の選定
	提案者	豊川 光雄
	概要	「伝えたい、残したい」町民が誇れる町の歴史、景観、文化、風俗、施設、食・・・を「しばた100選」として選定する。選定した「しばた100選」は写真や解説付きのウォーキングマップを作成し活用してもらうなど、町民が身近に感じられるものとしていく。
スタートアップ 提案 (活動開始間もない 団体からの提案)	名称	0歳児とママの居場所作り
	提案者	まめっこサークル
	概要	ベビーマッサージなどを通じて、赤ちゃん和妈妈の触れ合いの時間を持ち、親子の絆を強め、また、0歳児を中心として集まることによって、赤ちゃん和妈妈が安心して遊ぶことができる場、そして母親同士の育児相談ができる場を作っていく。

【大熱唱！東西対抗歌祭】

平成25年度第1回審査で採択となった実践提案「第1回チャリティーカラオケ東西対抗歌祭」が東西対抗歌祭実行委員会の主催により、11月24日（日）に槻木生涯学習センターで開催されました。歌祭には東西から合計64組の出場者があり、自慢の歌や舞踊を披露がされ、会場は大いに盛り上がりました。対抗戦の結果では僅差で「東組」（白石川を境にして船岡エリア）が勝利し、優勝トロフィーが授与されました。実行委員長の中森さんは「予想以上のパフォーマンスが披露され、年末の柴田町を盛り上げることができた。次回は子ども達がもっと参加できる、家族的な大会にしていきたい。」と今後へ向けて意気込みを語っていました。



ステージ・会場が一体となって大盛り上がりでした！

活動団体紹介

ボランティアグループ「さくらの手」



◆町民の皆さんに愛され親しまれるように◆

ボランティアグループ「さくらの手」は、趣味を通して知り合った仲間から「ボランティア活動をやってみよう」という声が上がリ、平成23年4月に発足しました。柴田町の花「さくら」のように、町民の皆さんに愛され親しまれ、そして地域づくりや町づくりに、小さいながらも暖かい「手」を差し伸べることができるようになりたいとの思いから「さくらの手」というグループ名を付けました。

◆老人ホームなどへの慰問活動・・自慢は「七福神の舞」◆

活動のメインは、定期活動として柴田町内を中心に、大河原町、岩沼市、角田市など隣接する市町の老人ホームなどを年6回慰問し、民謡、カラオケ、サックス、舞踊、ハーモニカなどを披露しています。中でも「さくらの手」自慢の出し物は「南部俵積唄」に合わせて踊る「七福神の舞」で、慰問先で大変喜ばれています。定期活動の他にも、地域の老人会などから招かれて慰問活動を行っており、今後は「獅子舞」にも取り組む予定で、慰問先を元気にしていければと考えています。



手作りの衣装と小道具を身に付けた七福神

◆「自分が楽しいから」というボランティア精神で◆

「さくらの手」では、地域の皆さんとの触れ合い、そして会員の「和」を何より大切にしています。そのため、時季に合わせた会員の親睦行事を年3回行い、また、会報を年2回発行し、地域での活動にその和を活かしています。

誰もが持っている「人のため社会のために役立ちたい」という気持ちを、ボランティア活動として取り入れていき、会員が自主的に「誰かのため」ではなく「自分が楽しいから」というボランティア精神で、今後も元気に活動を続けていきます。



活動にあたっては何より会員の「和」大切にしています

(お問い合わせ) ボランティアグループ「さくらの手」 代表 鈴木 隆 ☎090-4637-2510

12月生まれの偉人を調べてみると、西郷隆盛、与謝野晶子、福沢諭吉、徳川家康など数々の有名人の名前が出てきました。

年末が近づくとよく耳にするのが「第九」ですね。ベートーベンも12月生まれだそうです。

早めに大掃除を済ませて第九をのんびり聴けるようにしたいと思う今日この頃です。

残り1か月もよろしくお祈りします！

ゆる.ぷらスタッフより

(お問合せ先)

■しばたまち交流ひろば ゆる. ぷら
(イオンタウン柴田内)

電話 86-3631 FAX 86-3641

eメール yurupura@town.shibata.miyagi.jp

開館時間 10:00~18:00

<12月の休館日: 2、9、16、24、28~31日>

<年末年始の休館日: 12月28日~1月4日>

■柴田町まちづくり政策課

電話 54-2111 FAX 55-4172

